

1. 事業の紹介

健康増進法に基づき、がんの早期発見、早期治療を図ることで、働き盛り世代(主に40歳～60歳代)が健康で暮らせることを目指す事業です。

町田市民の死因第1位である”がん”の予防対策を推進するため、効果的、効率的ながん検診や普及啓発を実施するとともに、町田市医師会と協議を行い、受診しやすい環境づくりを推進します。

2. 事業の成果

成果指標名	2019年度	2020年度	2021年度
乳がん検診受診率	17.1%	16.8%	18.0%

働き盛り世代を中心に個別受診勧奨を行った結果、乳がん検診の受診率が1.2ポイント増加しました。

※40歳以上の女性が町田市の乳がん検診を受診した割合です。勤務先や人間ドックなどで受診した割合は含みません。

3. これからの課題

がんの早期発見、早期治療のため、より多くの市民にがん検診を受けていただく必要があります。受診率向上のため、勧奨方法の検討が求められます。

20

4. 行政コスト計算書

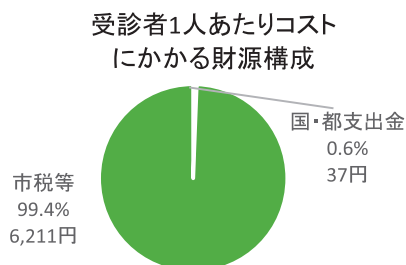
コスト	2億8,381万円	割合	収入	171万円	割合
人にかかるコスト	3,647万円	12.9%	国・都支出金	171万円	0.6%
業務にかかるコスト	2億4,734万円	87.1%	その他収入		
給付にかかるコスト			市税等	2億8,210万円	99.4%
減価償却費					

業務にかかる主なものは、大腸がん検診委託料7,689万円、乳がん検診委託料7,226万円です。

5. 貸借対照表

資産	0円	割合	負債	2,280万円
土地			地方債(市の借金)	
建物			その他の負債	2,280万円
その他の資産			純資産	△2,280万円

その他の負債のうち、2,051万円は退職手当引当金です。



検診名称	受診者数	自己負担額
胃がんリスク検診	3,262人	800円
大腸がん検診	23,535人	800円(500円※)
乳がん検診	8,671人	2,000円
子宮頸がん検診	9,959人	1,000円
合計	45,427人	

受診者には、表のとおり一部自己負担があります。
自己負担額は各医療機関の収入となります。
※成人健康診査等と大腸がん検診の問診を同時に受けた場合。

がん検診受診者1人あたりコスト
6,248円
受診者総数
45,427人

1. 事業の紹介

版画作品や美術資料の収集・保管及び展覧会の企画・開催、版画の実技講座の実施及びその他の教育普及と広報宣伝活動、図録やグッズ等の作成と販売、市民展示室やアトリエ等の貸出しなど様々な事業と活動を展開することで市民や来館者が優れた美術作品を鑑賞し、創作し、発表する機会を提供しています。これにより、町田市の文化振興および文化・芸術都市としてのブランドイメージ向上に寄与します。

2. 事業の成果

成果指標名	2019年度	2020年度	2021年度
展覧会観覧者数	10万6,077人	7万1,465人	9万3,170人
観覧料、施設使用料、特別観覧手数料収入	1,452万円	1,093万円	2,021万円

2021年度は6件の企画展と4件のミニ企画展を開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響により4月25日から5月31日まで臨時休館となりましたが、年間の展覧会観覧者数は2020年度より21,705人増加し、観覧料や施設使用料などの収入も928万円増加しました。

3. これからの課題

観覧者数が増加したものの、新型コロナ感染症拡大前の水準までは回復していません。今まで以上に幅広い層に魅力が伝わる展覧会を開催するほか、展覧会やイベントを開催する際にはインターネットやSNSをはじめとする様々な手法により国際版画美術館の魅力を情報発信するなど、来館者の増加につなげる取り組みが必要です。

4. 行政コスト計算書

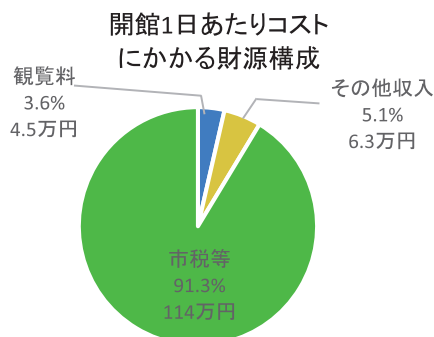
コスト	3億4,326万円	割合	収入	2,970万円	割合
人にかかるコスト	1億4,832万円	43.2%	観覧料	1,231万円	3.6%
業務にかかるコスト	1億3,866万円	40.4%	その他収入	1,739万円	5.1%
給付にかかるコスト			市税等	3億1,356万円	91.3%
減価償却費	5,628万円	16.4%			

観覧者数が増加したため、観覧料収入は689万円増加しました。

5. 貸借対照表

資産	27億8,883万円	割合	負債	2億2,713万円
土地			地方債(市の借金)	1億1,224万円
建物	8億913万円	29.0%	その他の負債	1億1,489万円
その他の資産	19億7,970万円	71.0%	純資産	25億6,170万円

資産は、美術館の建物8億913万円と屋外彫刻、収蔵美術品及び定額運用基金19億7,970万円です。



開館日数1日あたりコスト
124.8万円
年間開館日数
275



1. 事業の紹介

町田市立総合体育館の施設と、附属設備の維持管理を適切に行います。
市民が気軽にスポーツに親しめるよう、スポーツをする場・みる場を提供します。

2. 事業の成果

成果指標名	2019年度	2020年度	2021年度
施設利用者数	450,627人	187,855人	228,822人
施設利用率	92%	84%	92%

新型コロナ拡大防止対策を講じながら、施設開放やイベント・教室事業などを実施したことで、施設利用者数が40,967人、施設利用率が8ポイント増加しました。また、施設の老朽化により利用者の利便性が低下することがないよう、適宜、応急修繕を実施して、諸設備の維持・保全を図りました。

3. これからの課題

建設から30年以上が経過し、施設が老朽化していることから、指定管理者と連携・協力しながら、施設や諸設備の維持・保全を図っていく必要があります。また、施設の安定的な管理運営を持続するとともに、継続的にスポーツをする場・みる場を提供するため、大規模改修を実施する必要があります。加えて、新しい生活様式に合わせた、スポーツをする場・みる場の提供と充実に取り組む必要があります。

4. 行政コスト計算書

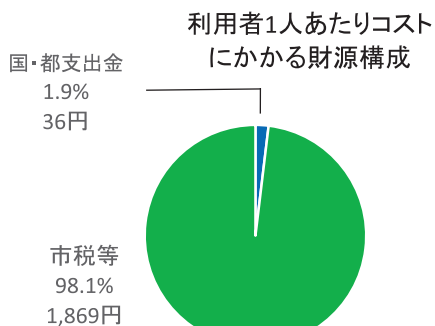
コスト	4億3,601万円	割合	収入	822万円	割合
人にかかるコスト	563万円	1.3%	国・都支出金	822万円	1.9%
業務にかかるコスト	2億6,138万円	59.9%	その他収入		
給付にかかるコスト			市税等	4億2,779万円	98.1%
減価償却費	1億6,900万円	38.8%			

物件費について、指定管理料及び消費税率の改正に伴う賃借料の増加により、70万円増加しました。

5. 貸借対照表

資産	32億7,058万円	割合	負債	3,200万円
土地	7億6,450万円	23.4%	地方債(市の借金)	2,766万円
建物	24億135万円	73.4%	その他の負債	434万円
その他の資産	1億473万円	3.2%	純資産	32億3,858万円

資産について、総合体育館の建物とその他の資産の減価償却により、1億6,900万円減少しました。



総合体育館利用者1人あたりコスト
1,905円
年間利用者数
228,822人



1. 事業の紹介

市民が分別して排出したごみや資源物を収集し、適正に処理または資源化を行う施設等へ運搬します。また、町田市内にある集積所を適切に管理し、市民が分別に取り組みやすい環境を整える役割を担っています。

2. 事業の成果

成果指標名	2019年度	2020年度	2021年度
ごみ及び資源の収集量	87,086トン	91,089トン	88,686トン
市内の集積所数	9,720箇所	9,809箇所	9,895箇所

市内の各家庭から排出されたごみ及び資源物88,686トンを収集し、適正に処理または資源化を行う施設等へ運搬しました。

また、利用者数の増加にあわせて集積所を86箇所増やし、市内9,895箇所の集積所を管理しました。

3. これからの課題

市民からは「ごみや資源物が、収集カレンダーに記載された収集日に確実に収集されること」が求められています。排出されたごみや資源物を確実に収集するための体制を維持しつつ、更なる効率的な収集が行えるよう努める必要があります。

4. 行政コスト計算書

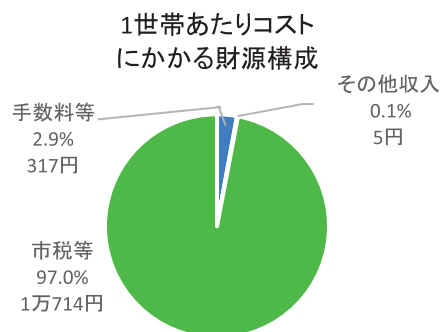
コスト	22億3,740万円	割合	収入	6,519万円	割合
人にかかるコスト	5億6,318万円	25.2%	手数料	6,417万円	2.9%
業務にかかるコスト	16億6,968万円	74.6%	国・都支出金		
給付にかかるコスト			その他収入	102万円	0.1%
減価償却費	454万円	0.2%	市税等	21億7,221万円	97.0%

労務単価の上昇等により、業務に係るコストが2020年度に比べて3,281万円増加しました。

5. 貸借対照表

資産	3億5,405万円	割合	負債	4億5,288万円
土地	3億4,985万円	98.8%	その他の負債	4億5,288万円
建物				
その他の資産	420万円	1.2%	純資産	△9,883万円

土地は、集積所用地 4,898.02㎡、その他の資産は、ごみ収集業務等に用いている車両37台などです。



1世帯あたりコスト
1.1万円
2021年10月1日時点の世帯数
202,737世帯



1. 事業の紹介

本事業は、清掃工場の運営管理及び場内設備の維持管理を行い、市内から発生するごみを滞りなく適正に処理することを目的としています。

2. 事業の成果

成果指標名	2019年度	2020年度	2021年度
ごみ焼却量	89,345トン	89,511トン	86,377トン
許可業者ごみ搬入量	18,775トン	16,299トン	16,592トン

◆新施設稼働までの間、現有施設の適正管理及び安定稼働を実現するために、機器修繕を実施し、施設の延命化を行いました。

◆ごみ焼却熱を利用した発電の内、余剰電力について、町田リサイクル文化センター建て替えに伴う発電量の調整により電力量が約2,675,000kWh減少したこと、売電単価の減少により、売却金額は2020年度比約21,275千円、約38%減少しています。

3. これからの課題

◆町田市バイオエネルギーセンターの運營業務委託が開始したため、ごみの処理を滞らせることのないようにモニタリングの実施や他市事例を踏まえた運営管理の方法を検討する必要があります。

28

4. 行政コスト計算書

コスト	12億7,980万円	割合	収入	8億4,438万円	割合
人にかかるコスト	2億8,375万円	22.2%	手数料	6億5,192万円	51.0%
業務にかかるコスト	9億9,598万円	77.8%	国・都支出金		
給付にかかるコスト			その他収入	1億9,246万円	15.0%
減価償却費	7万円	0.0%	市税等	4億3,542万円	34.0%

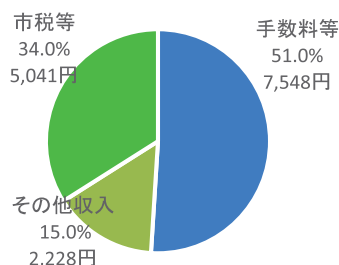
年度途中に会計年度任用職員が24名、常勤職員12名減員したため、人にかかるコストが1億1,569万円減少しました。

5. 貸借対照表

資産	284億75万円	割合	負債	132億1,159万円
土地			地方債(市の借金)	129億9,528万円
建物	278億7,550万円	98.2%	その他の負債	2億1,631万円
その他の資産	5億2,525万円	1.8%	純資産	151億8,916万円

町田市バイオエネルギーセンターしゅん功などにより、建物が240億9,504万円増加しました。

ごみ焼却1tあたりコスト
にかかる財源構成



ごみ焼却量1tあたりコスト
14,817円
市民1人あたりのコスト
2,972円



29

1. 事業の紹介

「町田薬師池公園四季彩の杜」は、東京都の名勝に指定された薬師池を中心に、リス園、ぼたん園、ダリア園などの観光施設や豊かな自然環境が存在するエリアです。2020年4月17日には西園・ウェルカムゲートがオープンし、町田市の観光拠点として魅力を高めています。

さらに魅力を高めるため、『町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画』を着実に進めるとともに、四季折々の花々を成育し、市内外から来園する人々にやすらぎを提供します。

2. 事業の成果

成果指標名	2019年度	2020年度	2021年度
町田薬師池公園四季彩の杜全体の来園者数	—	1,149,391人	1,255,616人

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、2020年度は中止したぼたん園の有料開園を行い、有料開園時来園者数が4,213人増加しました。
- ・四季彩の杜エリア全体を対象としたスタンプラリーの開催やPR活動等により、四季彩の杜全体の来園者数は106,225人増加し、年間目標を大きく上回る約125万人となりました。
- ・薬師池公園の来園者数は、年間で13,815人減少したものの、年度目標を達成し、約44万人の来園者数を記録しています。

3. これからの課題

引き続き、四季彩の杜エリア内各施設の連携を強化し、多種多様なイベントを企画・開催することで、さらにエリアの魅力を高め、回遊性を向上させていく必要があります。

30

4. 行政コスト計算書

コスト	3億2,740万円	割合	収入	1,223万円	割合
人にかかるコスト	4,434万円	13.6%	使用料等	1,138万円	3.5%
業務にかかるコスト	2億371万円	62.2%	国・都支出金	9万円	0.0%
給付にかかるコスト			その他収入	76万円	0.2%
減価償却費	7,935万円	24.2%	市税等	3億1,517万円	96.3%

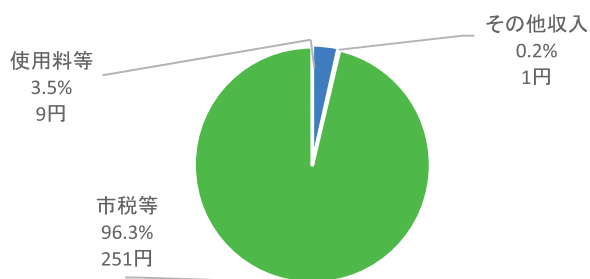
土砂崩れにより、バスベイ整備工事の完了及び支払が延期となり、業務にかかるコストが5,192万円減少しました。

5. 貸借対照表

資産	111億5,228万円	割合	負債	10億4,791万円
土地	96億3,932万円	86.4%	地方債(市の借金)	10億2,430万円
建物	5億3,636万円	4.8%	その他の負債	2,361万円
その他の資産	9億7,660万円	8.8%	純資産	101億437万円

薬師池公園北駐車場前のバスベイにベンチを新設したため、その他の資産(工作物)が99万円増加しました。

来園者1人あたりコストにかかる財源構成



来園者1人あたりのコスト
261円

※公園緑地課の行政コストのみで算出しています。



町田薬師池公園四季彩の杜 西園(ウェルカムゲート)

1. 事業の紹介

市営住宅を良質で適切に維持管理することで、市民が安心して暮らし続けることができる環境を確保します。

市内に6団地514戸ある市営住宅(借上げ公営住宅を除く)と2団地5戸ある市民住宅(特定公共賃貸住宅)等を管理・運営するための事業です。

2. 事業の成果

成果指標名	2019年度	2020年度	2021年度
市営住宅使用料徴収率 (当該年度分)	99.0%	98.9%	99.0%
長寿命化修繕の実施棟数 (延棟数)	8棟	9棟	11棟

市営住宅使用料の当該年度分徴収率は、引き続き高い徴収率を維持しています。
忠生市営住宅(3号棟及び集会所棟)において屋上防水工事を実施したことにより建物の長寿命化を図りました。

3. これからの課題

市営住宅使用料の未収金については、早期に滞納者と納付折衝を進めていくことが重要です。
市営住宅の長寿命化を図るため、設備更新や維持補修を適切な時期に実施していく必要があります。

4. 行政コスト計算書

コスト	3億4,642万円	割合	収入	1億8,372万円	割合
人にかかるコスト	1,630万円	4.7%	家賃収入	1億7,716万円	51.1%
業務にかかるコスト	1億6,066万円	46.4%	国・都支出金	618万円	1.8%
給付にかかるコスト			その他収入	38万円	0.1%
減価償却費	1億6,946万円	48.9%	市税等	1億6,270万円	47.0%

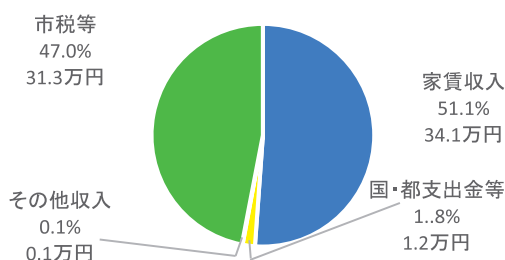
市営住宅の修繕費の減少により、業務にかかるコストのうち維持補修費が4,805万円減少しました。

5. 貸借対照表

資産	82億9,933万円	割合	負債	4億2,033万円
土地	44億3,939万円	53.5%	地方債(市の借金)	4億550万円
建物	38億4,126万円	46.3%	その他の負債	1,483万円
その他の資産	1,868万円	0.2%	純資産	78億7,900万円

減価償却により、建物が1億6,878万円減少しました。

住戸1戸あたりコストにかかる財源構成

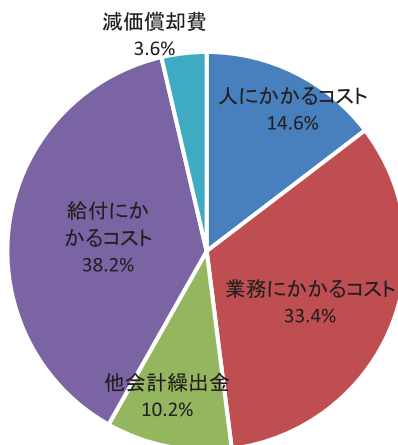


住宅1戸あたりコスト
年間66.7万円(月間5.6万円)
市営住宅・市民住宅戸数
519戸



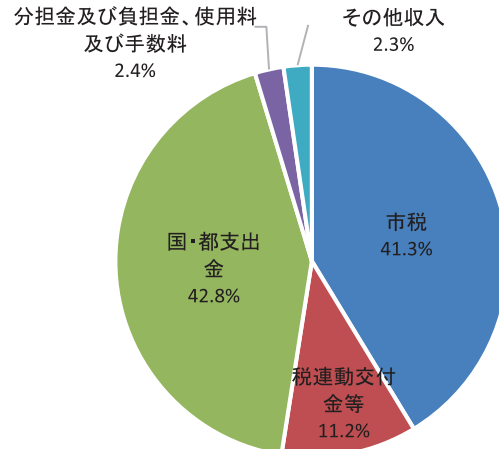
町田市(一般会計)の状況

一般会計のコスト割合



1,557億3,492万円

一般会計の収入割合



1,661億9,936万円

人にかかるコスト…人件費、賞与引当金繰入額、退職手当引当金繰入額
 業務にかかるコスト…物件費、維持補修費、補助費等、不納欠損引当金
 他会計繰出金…国民健康保険事業会計、下水道事業会計、介護保険事業会計、
 後期高齢者医療事業会計への繰出金
 給付に係るコスト…扶助費
 税連動交付金等…地方交付税、地方消費税交付金、地方譲与税、地方特例交付金等

34

1. 行政コスト計算書

コスト	1,557億3,492万円	割合	収入	1,661億9,936万円	割合
人にかかるコスト	227億8,297万円	14.6%	市税	686億4,822万円	41.3%
業務にかかるコスト	519億5,561万円	33.4%	税連動交付金等	185億7,899万円	11.2%
他会計繰出金	158億8,967万円	10.2%	国・都支出金	711億9,259万円	42.8%
給付にかかるコスト	594億2,800万円	38.2%	分担金及び負担金、使用料及び手数料	39億3,440万円	2.4%
減価償却費	56億7,867万円	3.6%	その他収入	38億4,516万円	2.3%

・業務にかかるコストのうち、集団接種会場運営委託関連委託料が22億円、学校給食に係る賄材料費が11億円、キャッシュレス決済プレミアムポイント事業業務委託料が5億円です。
 ・給付にかかるコストのうち、生活保護費が178億円、障害者自立支援給付費等が100億円、住民税非課税世帯等臨時特別給付金が36億円、幼児教育・保育に係る施設等利用給付費が7億円です。
 ・税連動交付金等のうち、地方交付税が46億円、地方消費税交付金が98億円、地方譲与税が8億円です。

2. 貸借対照表

資産	1兆5,502億1,887万円	割合	負債	1,106億6,511万円
土地	1兆2,325億64万円	79.5%	地方債(市の借金)	938億1,018万円
建物	1,264億9,916万円	8.2%	賞与引当金	15億6,490万円
基金積立金	236億2,501万円	1.5%	退職手当引当金	151億7,310万円
その他の資産	1,675億9,406万円	10.8%	その他負債	1億1,693万円
			純資産	1兆4,395億5,376万円

・土地のうち、道路が9,457億円、公園が1,775億円です。
 ・建物のうち、学校が411億円、公園が96億円です。
 ・基金積立金のうち、財政調整基金残高が93億円、公共施設整備基金残高が68億円です。

35

町田市では、ふるさと納税をさまざまな事業に活用しています。
皆さまが共感する事業への応援をお願いいたします。



おうちでごはん
子ども食堂を自宅へ！

町田市民病院に
最新の医療機器を！



桜を植えよう！
「まちだのさくら」を未来へ

ふるさと納税の申込み方法

◆インターネットから申込み

ふるさとチョイス・楽天ふるさと納税・東急ふるさとパレットの3サイトから申込みができます。
下の二次元コードを読み取ることで、サイトにアクセスができます。

(ふるさとチョイス)



(楽天ふるさと納税)



(東急ふるさとパレット)



インターネットをご利用にならない方は、町田市財政課までお問合せください。

このパンフレットは、700部印刷し、1部あたりの単価は336円です。(職員人件費を含みます。)

町田市財務部財政課
東京都町田市森野2-2-22
電話 042-724-2149
刊行物番号 22-40